

第1期生 男：8名 女：66名 合計：74名  
 第2期生 男：1名 女：18名 合計：19名  
 合計 男：9名 女：84名 合計：93名  
 回答数 11 回答率 11.8%

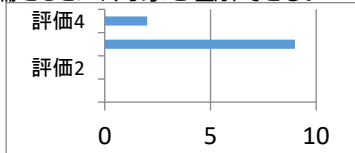
1. 本学卒業生について

評価基準

評価4 そう思う 評価3 ややそう思う 評価2 あまり思わない  
 評価1 全く思わない

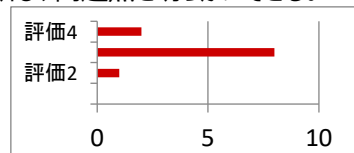
1)看護学の基礎的な理論をもとに、対象を理解できる。

評価4	2
評価3	9
評価2	0
評価1	0



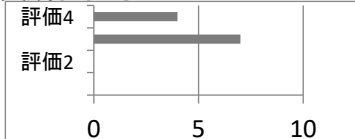
2)対象の健康課題を分析し、問題点を明らかにできる。

評価4	2
評価3	8
評価2	1
評価1	0



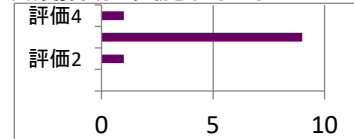
3)対象に合わせた看護を実践している。

評価4	4
評価3	7
評価2	0
評価1	0



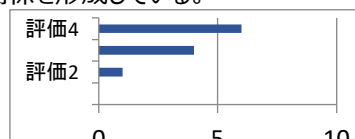
4)科学的根拠を理解し、看護援助を実施している。

評価4	1
評価3	9
評価2	1
評価1	0



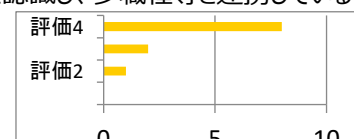
5)看護の対象と適切な関係を形成している。

評価4	6
評価3	4
評価2	1
評価1	0



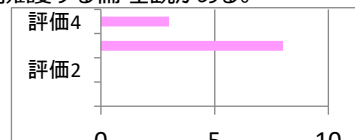
6)チーム医療の重要性を認識し、多職種等と連携している。

評価4	8
評価3	2
評価2	1
評価1	0



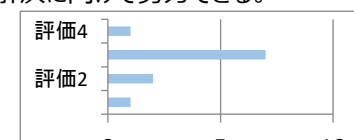
7)対象の人権を尊重し、擁護する倫理観がある。

評価4	3
評価3	8
評価2	0
評価1	0



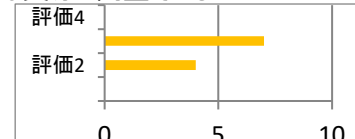
8)自ら疑問をもち、問題解決に向けて努力できる。

評価4	1
評価3	7
評価2	2
評価1	1



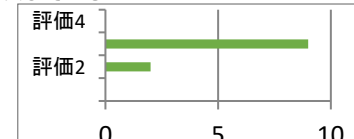
9)人的・物理的・経済的な資源を調整できる。

評価4	0
評価3	7
評価2	4
評価1	0



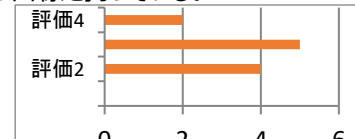
10)専門職として自己研鑽している。

評価4	0
評価3	9
評価2	2
評価1	0



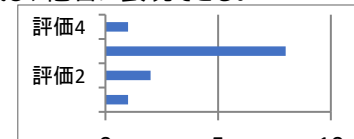
11)専門職としての将来の目標を持っている。

評価4	2
評価3	5
評価2	4
評価1	0



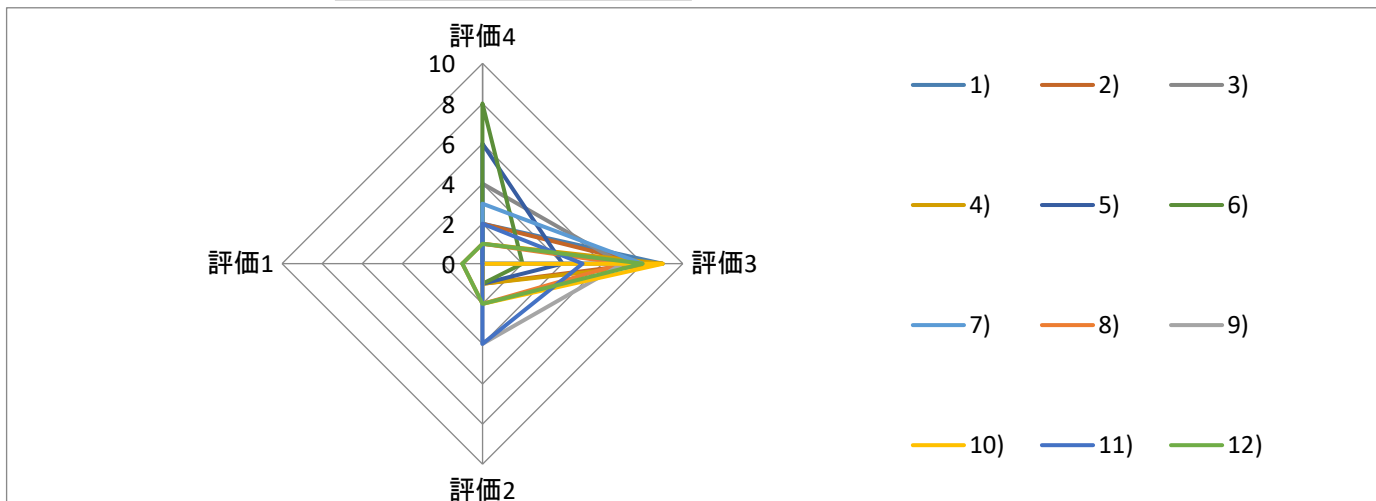
12)自己の看護観を形成し、他者に表現できる。

評価4	1
評価3	8
評価2	2
評価1	1



13) 合計

評価4	30
評価3	83
評価2	18
評価1	1



## 2-1. 職種について

入職時 保健師：0名 助産師：0名 看護師：10名 准看護師：1名 その他：0名  
 現在 保健師：0名 助産師：0名 看護師：9名 准看護師：0名 その他（無回答：1名）

## 2-2. 在学中に学んで身についた、現在の看護に活かされていると思うこと

- ・ 実習で身についた忍耐力、研究で身についた文章や論文のまとめ方。
- ・ 不特定対象者とのコミュニケーションスキル。
- ・ 実習で学んだこと(知識、技術だけでなく精神面で厳しかったこと)。
- ・ 病態生理学の授業は知識として役立った。高齢の患者さんに老年実習・演習が活かされた。
- ・ 看護技術
- ・ 実習の際、実際に患者と関わる時の態度や看護の姿勢に活かされている。
- ・ 患者との関わり方や、個別性を持った看護問題をたて看護実績につなげること。

## 2-3. 在学中にもっと学んでおけばよかったと思うこと

- ・ 患者との関係の持つ方や、先輩看護師との良好な関係の築き方。看護師になった後の目標。
- ・ 基礎疾患について。病態学や疾病の授業が難しく苦手意識を持っていたため基本を知っていれば良かったと感じる。
- ・ 病態生理学(4)
- ・ 解剖生理学(4)
- ・ 手術看護について。
- ・ 検査データの基準値、薬理学、解剖生理の基礎知識。

## 2-4. 卒業後に感じた自己の成長や変化について

- ・ 社会人としてのルールを身につけた。わからないことに興味を持ち学ぼうとする事が出来た。
- ・ 知らない人との関係作りがうまくなった。理想としている看護師像と現実とのギャップが大きく続けていく自信がなくなってきた。
- ・ 責任感を強く持つようになった。
- ・ 患者さんと話したり看護したり、手助けしたい気持ちがあったが、一年目はミスなく日々の業務をこなすことや先輩に怒られないで過ごすことに気持ちが向いてしまいました。
- ・ コミュニケーション能力の向上。
- ・ 患者を受け持ち指導するようになったり、後輩スタッフが出来少しづつ自己研鑽していけるようになったと感じる。
- ・ 学生の時には自分に向いてる看護を考えていたが実際は違い、今は救急などの急性期を学びたい。
- ・ 働く事で知識だけでなく実践的な技術を学ぶことも出来ていると感じている。興味を持って学んでいる。

## 2-5. 卒業後に取得した資格

- ・ なし

## 2-6. 将来の目標・今後取得したい資格について

## 《将来の目標》

- ・ やりたい看護を見つけ資格取得に励む。
- ・ 保健師になりたい。
- ・ 緩和ケアの認定看護師になり訪問看護をすること。
- ・ 経験値をあげて訪問看護の方へ進みたいとは漠然と考えている。
- ・ 救急で学び、その後在宅等で学びたい。

## 《今後取得したい資格》

- ・ 糖尿病療養指導士の資格をとり保健指導に生かしたい。
- ・ 緩和ケア認定看護師
- ・ ケアマネジャー
- ・ BLS,ACLSの資格

## 2-7. 大学や後輩へメッセージ等

- ・ 知識や技術は働いていくうちに獲得していけばいいので挨拶・報連相ができるようにしてほしい。人間関係で悩む人も多いので、大学で色々な人に出会い人に慣れておくといいと思う。
- ・ 辛いことはみんなが通る道なので、一生懸命まっすぐに働いていれば時間が解決してくれるはずですが。しかし、私は他の理由で一年で退職してしまいました。もっと同期やプリセプター、師長さんに相談すればよかったと思いました。
- ・ 今はテストや実習など大変だと思うが、看護の道に進んでよかったと思える日が来ると思うので頑張ってください。

## 2-8. 現在、働いている病院施設は卒業時と同じか

1. 卒業時と同じ：11名      2. 卒業時と異なる：1名

## 2-9. 卒業時に就職した病院・施設の退職時期と退職理由、現在の就業先

退職時期：2020年3月-1名

理由(複数回答可) 結婚・出産：0 地元へ転職：0 継続困難：1 やりたい看護ができなかった：1

その他(保健師業務(1・2次予防)に重点をおいた支援がしたかった：1)

現在の就業先 青森県立中央病院：2名 帝京大学病院：2名